

→白石市の伝統工芸品「こけし」の絵付け体験。



→「よろい」と「かぶと」を身につけて武士に変身！



→「白石市の文化に触れてもらえるとうれしいです」と話す白石市観光協会の四籠均副会長。



→風間康静白石市長（写真右）がステージで物産PRをしました。



### 白石区と宮城県白石市の交流

白石区の歴史は、仙台藩白石領（現在の宮城県白石市）の人々が移住して来たことにはじまります。このことから、白石区とは縁が深い白石市。毎年、同市の市長や観光協会の方々がおふるさとまつりに参加し、物産品の販売などを通じて白石市の紹介を行うなど、白石区民との交流を深めています。

### 会場を訪れた区民の方々から



↑「札幌のような都会でも、地域の人たちが触れ合えるお祭りがあるというのはいいですね」と話す石川さんご一家。



↑「前売り券の抽選で、ファイターズの観戦チケットが当たりました」とうれしそうに話す、吉岡さんご夫妻。



↑ご近所の皆さんと会場を訪れた吉田さん（写真右端）。「お祭りのスケールが大きいですね。とても楽しいです」と話してくれました。

### 白石区子ども遊芽カーニバル2008

同時開催された「白石区子ども遊芽カーニバル2008」は白石区子ども会連絡協議会の主催。

子ども会のリーダーたちが、ステージイベントのほか、フェイスペイントや工作などのコーナーを企画し、子どもたちを楽しませました。



←遊芽レンジャーショー



→「たくさんの人に見てもらえて良かったです」と話すYOSAKOIチーム「舞花鈴」の皆さん。



→子どもたちは手品やジャグリングに興味津々。



↑プラスチックの板にお気に入りの絵を描き、ペンダントなどを作りました。



↑「楽しく演じることができたし、来てくれた方々にも楽しんでもらったので大成功！」と話す遊芽レンジャー役の皆さん。